

会社名 EIZO 株式会社
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆
(コード番号 6737 東証プライム)
問合せ先 執行役員 総務部長 比良 浄敬
電話番号 076 (275) 4121

RBA 監査でプラチナ・ステータスを取得

グローバルサプライチェーンにおけるサステナビリティへの取組みを強化

EIZO 株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛 祥隆)の本社工場およびグループ会社、EIZO エムエス株式会社の七尾工場が、Responsible Business Alliance(RBA)による VAP (Validated Assessment Program) 監査において、認証プログラムの最上位、プラチナ・ステータスを取得しました。



Responsible Business Alliance とは

Responsible Business Alliance(RBA)は、グローバルサプライチェーンにおけるCSR 推進を目指す企業連合で、電子業界を中心とした世界 200 以上の企業から構成されます。

RBA は、企業およびそのサプライチェーンにおいて、労働環境が安全であること、労働者が敬意と尊厳を持って扱われること、企業が事業活動を通じた環境負荷に対して責任を持つこと、業務を倫理的に行うことを定めた行動規範を設けており、参加企業は当行動規範を遵守することが求められます。

▼Responsible Business Alliance Web サイト

<https://www.responsiblebusiness.org/>

RBA 行動規範に沿った当社の取組み

当社は「映像を通じて豊かな未来社会を実現」することを企業理念としており、これを実現するための EIZO グループ行動指針をサステナビリティの方針としています。この行動指針では製品を通じた社会課題の解決に加え、環境配慮や人権の尊重、従業員がいきいきと働ける労働環境の整備など、社会的、環境的、倫理的責任についても言及し、これに沿った事業活動をグローバルに展開しております。

こうした背景のもと、2020 年 1 月、グローバルサプライチェーンにおけるサステナビリティ推進を目的に RBA に加盟し、RBA 行動規範を参考にしながら、自社のサステナビリティの取組みをさらに強化してまいりました。

2022 年における具体的な活動の一つとして、「EIZO グループ人権方針」を制定しました。人権尊重は企業にとっての重要な社会的責任の一つであるという認識から、当社の人権尊重の考え方を改めて定めたものです。また、サプライヤーに対して当社サプライヤー行動規範の遵守や自主監査へのご協力を求めることを規程化しました。これにより、サプライヤーの皆様のご理解・ご協力を得ながら、グローバルサプライチェーンを通じたサステナビリティの一層の取組みを推進しております。

VAP (Validated Assessment Program) 監査とは

VAP 監査は、RBA に認定された監査機関が、RBA 行動規範の遵守状況を、書類調査、施設巡視、従業員インタビューを通じて確認・評価します。

当社は 2022 年 12 月、国内外の自社工場での生産の 8 割以上を担う主要工場である EIZO 株式会社本社工場および EIZO エムエス株式会社七尾工場にて VAP 監査を受審し、満点である 200 点を取得。RBA 認証プログラムにおいて最上位であるプラチナ・ステータスを取得しました。

この度の結果は、RBA 行動規範の遵守はもちろん、当社グローバルサプライチェーンを通じたこれまでの継続的なサステナビリティの取組みが認められたものであると考えております。今後ともこれらの活動を継続しながら、サステナビリティの維持・向上に努めてまいります。

以上